



21西尾

21世紀にかける西尾市民会議 (2025.3.31) No.155



怪しい入札
多い
しゅうかい 多数あり…
してよ! 市長さん!!

No.155
ご覧下さい。ご意見もどうぞこのページ <http://www.noriko.to/>

のりこ & のりゆきの辛口議会だより

黒さん 「腰痛」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」「腰筋」

「見積りを複数にする、とか、入札手続きを見直す、とか

言っているが、むしろできるか?」

「俺たち、みんなで、監視しなくちゃあいけねえぜ。」

黒さん 「腰痛」「腰筋」

「そんな入札は「出来レース」じゃないか?」

「外にも、参考見積もりの金額をはるかに下回る金額で、

その見積りをした企業が落札した例も見受けられ、市民

や入札参加業者から「入札」の「公正さ」が疑われかね

ないよ。」

黒さん 「腰痛」「腰筋」

「見積り金額が取扱いからって問題もあるよな。」

「教育委員会が発注した物品だが、1570万円の見積金額に対しても3社が入札。その入札金額は、1060万円、

1270万円、1350万円だったが、落札したのは

1060万円で入れした見積業者だったのです。」

「おおお、それがなぜだけじゃないよ。19件のうち、

「わたしもそう思うが、市販は「やり直しがしない」と

言い張る。」

「よお、参考見積もりをした業者は、あらかじめ、どの位の

入札価格になるか判断なんだよなあ。」



黒さん 「腰痛」「腰筋」

「お前さんも気が付いたかい? 19件のなかで見積もり業者が

落札したのが、何と13件も

あるんだ。しかも、その業

者13社だけの入札で落札し

たのが8件になる。」

黒さん 「おおお、それが怪しいせ、

ヒヒひひ、「見積もり業者」てえのはヒヒやりて決める

んだよ。」

黒さん 「腰痛」「腰筋」

「やつら、あすます怪しくなりつつあるねーそれに、見積もり

は複数から取らなきやダメだろ!!」

「やつらのことで、入札に参加可能な企業は複数あるんだか

いだ。」

「見積り金額が取扱いからって問題もあるよな。」

「やつらのことで、入札に参加可能な企業は複数あるんだか

いだ。」



黒さん

「「腰痛さん」の回答では、

納得のいかない「入札」が

出されたけど、それは、ど

うなったんだい?」

「あれから、過去数年分の物

品購入を調べたんだがね。」

イベハトばかり!! 3期目は??

「J隱居 2期目になつてから、生涯学習センターの新設に総合体育館の大規模改修、文化会館の大規模改修とたて続けだねえ。」

「J隱居 そななんだよ。吉良中の建替えと小中学校の改修はやらなければいけないが、それにしても、これまでの予定では毎年2校程度のペースだったんだが。それが3校も4校も同時進行と急ピッチだ。」

「J隱居 令和3年の普通建設費は71億円だったが、令和4年は75億円、令和5年100億円、令和6年は158億円にまで跳ね上がっているんだ。」

「J隱居 おい、大丈夫かよ? 中市政もP-F契約を解除したまではよかつたが、今は夕方が外れたようで、大丈夫じゃない。とても心配だ!!」

「J隱居 熊さん 「公共施設再配置計画」は、合併後の公共施設の老朽化や重複、ムリ・ムダをしつかりチェックして取捨選択する」として「市の将来負担を減らしていく」のが主眼だったはずだぜ。」

「J隱居 そななんだよ。ところが、取捨選択の方はみな置き去りだ。財政力指数は、合併以降ずっと西三河の市最下位で、知立、高浜にも負けてる。それどころか、P-Fでは取止めた温水プールまで新たに建設しようとしている。これじゃ、『施設再配置』の逆行だ!」

「J隱居 市政70周年 大盤振る舞いのイベントに、マラソン大会まで始めただろ。3回目の今年は2億数千万円もかかっているが、運営は市外の業者に丸投げで99%がその業者に支払われる費用だ。国からの補助金は1900万円ばっきりだぜ。市長は「マラソンといえば、西尾市といわれるようになつた」と威勢がいいが、公認コースにするのは無理だといつぱりじゃないか。各企業に寄付を頼みまわっているが、西尾市に、どれほどの経済効果があるのか疑問だね。」

そもそも問題なのは「西尾市方式」!!

「J隱居 もじわび、P-Fのことは「民間資金の活用」を意味する英語の略語だ。民間の資金を運営に充てる工夫が含まれた事業計画が前提といえる。

「J隱居 ところが「西尾市方式」は、民間の資金なんか使つてやしないし、返済金も金利もみんな市が支払う契約になつていたんだよな。国の指針では金利や物価変動のリスクも業者負担とされてるのに、だせー。」

「J隱居 そななんだ。だから、P-F一括体が悪いわけではなく、西尾市方式に問題があつたんだ。例え

P-F契約、エリアアドラン社から 損害賠償請求の訴訟の提起!

「J隱居 熊さん P-F契約の相手方(以後、工社)から市に対し損害賠償請求の裁判が起こされたな。」

「J隱居 ああ、「契約解除によって被つた損害が28億5500万円だ」という言い分のようだ。」

「J隱居 熊さん それも「実質利益とかを計算したの57億1千万円に積み上がつた。名事業者の方々と相談したり、3分の1とか3分の2などの声があつたが、市民の負担を少なくしたい(?)から半分にした」というんだってえ?」

「J隱居 熊さん 肝心かなめの請求の根拠はどうなつているんだろうねえ?」

「J隱居 熊さん 「市と契約した後、実際に手配した人員や資材等の損害に加えて各施設の運営や維持管理を担う」として将来、被つられるはずだった逸失利益を合わせて積算した金額だそうだぜ。」

「J隱居 熊さん しかし、熊さん、考えてても11億円の事業に対して被つられた利益というなら、利益率は、29%にもなつてしまふ。」

「J隱居 熊さん ええ、そりや幾ら何でも儲け過ぎだろ!」

「J隱居 熊さん そう、世間さまには通用しない話さ。」

「J隱居 熊さん 契約の見直しにあたつては、建設途中になつていた吉良の支所棟は設計を変更したが、その後、市が工社の言い値で買い取つたんだろ。」

「J隱居 熊さん そうだよ。一色の市営住宅も建設どころか、前段階の基本設計の時点で取り止めにしたうえに、その設計画面も市が買い取つてはいるんだから、「実際」手配した人員や資材の損害」なんか生じるわけがないよ。」

「J隱居 熊さん そなだよなあ!」「各施設の運営」にしたつて、一色公民館始め3施設は、工社の下請け事業者だったM-Cグループが工社から離れ、市と直接契約して運営にあたつている。工社の損害には入らないはずだよ。」